

PMAN モデル 50/100 使用時の留意事項について

株式会社 富士通アドバストエンジニアリング

2018 年 3 月

1. サポート OS について

サポート OS については、本装置に接続する機器の構成図で確認してください。

2. TTY 接続設定手順について

RedHat Enterprise Linux 6.7 以降で使用する際、RedHat Enterprise Linux で設定されている次の TTY 設定ファイルの名称の変更を行ってください。

[TTY 設定ファイル]

`/etc/init/serial.conf`

(例)

```
mv /etc/init/serial.conf /etc/init/serial.org
```

PMAN モデル 50/100 使用時の TTY 設定については、「運用管理装置 PMAN モデル 50/100 接続サーバの TTY 設定について[POW-FFC-E-0034-R06]」の手順で行ってください。

3. UEFI モード使用時について

UEFI モード使用時は、RHEL により OS システムのパスが変更になります。

「運用管理装置 PMAN モデル 50/100 接続サーバの TTY 設定について[POW-FFC-E-0034-R06]」に記載されていますブートローダ設定ファイル「`grub.conf`」のパスが次のように変更になります。

[マニュアル記載パス] `/boot/grub/grub.conf`

[UEFI モード使用時] `/boot/efi/EFI/redhat/grub.conf`

UEFI 対応については、本装置に接続する機器の UEFI 対応状況で確認してください。

以上